



見どころポイント(山城ビクトグラム)

特に
おすすめ

合戦舞台

ワイク性

ネット

（ほり堀あり）

（たてはしあり）

（せり切りあり）

眺望良好

（ほり堀あり）

標高

約190m

体力度

☆☆☆☆

技術度

☆☆☆☆

対象

初級者

駐車場

有(上月歴史資料館)
バスの駐車可(中型可)

トイレ

山麓の「上月歴史資料館」を利用(要相談)
開館日:土日祝10:00~16:00

備考

山頂からさらに先に進むと上月の町を見渡せるビュースポットがあります。

上月城の
詳細はコチラ!
山城に登っている
動画もcheck

【観光案内】佐用町観光協会 TEL.0790-82-0670



概要

主な城主：上月景盛、赤松政元、尼子勝久
標高：190m
形態：連郭式山城(中世)

上月城は、佐用町に存在する山城で、織田・毛利の前哨戦となった上月合戦の主戦場となった山城です。標高190メートルの山頂に自然地形を生かした曲輪、堀切などがあり、主郭に赤松氏、麓に尼子氏の供養塔が残されています。

【歴史】
大正15年に編纂された「佐用郡誌」によると、鎌倉末期に赤松氏の一族、上月景盛(かげもり)が築城。1441年(嘉吉(かきつ)元年)4代景家の時、嘉吉の乱が発生し、上月氏の嫡流は滅びました。上月城は、播磨・備前・美作三国の境界に位置する地理的要素から攻防的となりました。
天文7年(1538年)に尼子氏に攻略され落城した後、弘治3年(1557年)に赤松一門で「西播磨殿」と呼ばれたと伝わる政元が置塩城から入城。大内氏らとの激しい攻防戦の末、宇喜多直家によって攻め落とされます。
その後、信長方の秀吉軍によって落城し、尼子勝久が入城しましたが、天正6年(1578年)、6万余りの毛利軍に攻められ、三木城攻めに手を焼いた秀吉軍に見放されてあえなく上月城は落城、尼子氏は滅亡しました。勝久の家臣、山中幸盛(鹿介)の忠義は有名です。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25 TEL 0791-58-2144



登山口までのアクセス

車の場合

中国自動車道『佐用IC』 約14分 上月歴史資料館 駐車場
※バスの駐車可(中型可)

上月城 登山口

電車の場合

JR姫新線 約90分 JR 上月駅 国道373号を南へ 約10分で登山口

上月城 登山口

西播磨の山城御城印

西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください。
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則(きうちたのり)氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城(りかんじょう)、篠ノ丸城(ささのまるじょう)の想像復原図などが追加掲載された改訂版。

西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城

西播磨遊記

Instagram

X

You Tube

登山の装備と持ち物チェックリスト(一例)

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

服装

防寒着(冬期) 帽子 リュック 長ズボン(タイツ等) トレッキングシューズ 靴下 手袋(軍手等)

肌の露出はなるべく少なくしましょう

持ち物

☐ タオル ☐ 着替用肌着 ☐ ゴミ袋 ☐ 虫除けスプレー ☐ 雨具(カッパ等) ☐ 水・飲料 ☐ 絆創膏 ☐ 登山用ステッキ

山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

ヤマビル(6月～9月は特に注意)

●肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
●咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
●虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
●吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

スズメバチ(7月～10月は特に注意)

●攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
●スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
●刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。
下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

毒蛇(マムシ・ヤマカガシ)

●藪や茂みに入らない。
●咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

マダニ

●マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つづが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
●肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
●咬まれた時は自分で除去せず医療機関(皮膚科等)を受診しましょう。
●ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間様子をみて、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

クマ

●クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
●大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見て逃げないようにしましょう。
●子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように!

毒キノコ

●誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
●外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
●山でキノコは採らない、食べない!を徹底しましょう。

デングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸障害の中毒症状が見える。

ドクツルタケ
日本で見られる中でも最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則

原則1 採らない!
原則2 食べない!
原則3 売らない!
原則4 人にあげない!